

中学生に対する 情報モラル教室の実施

和歌山県警察学生サポーター

和歌山県警察サイバー防犯ボランティア

近畿大学3年 小西 哲也

和歌山県警察学生サポーター 通称「ブロッサムリーダーズ」

■ 立ち直り支援活動

▶ 対象

- 非行少年・被害少年
- 家庭環境など様々な問題をかかえる少年

▶ 活動内容

- 少年の社会参加や居場所づくりのための活動

▶ 目標

- 少年が地域社会の中で目標を見つけ、健全な成長を目指せるように支援すること

和歌山県警察

サイバー防犯ボランティア

- サイバーパトロール
 - ▶ 発見した違法・有害情報を警察やインターネットホットラインセンター（IHC）へ通報
- 広報啓発活動
 - ▶ インターネット利用者の規律意識向上を目的
- 講習活動
 - ▶ インターネットの実態や危険性等

和歌山県における 少年のネットモラルに関する現状

	喫煙	飲酒	深夜徘徊	ギャンブル	誹謗中傷	いじめ	性体験	問題行動等	通報総数
H 2 6	3 2 4	4 0 4	3 1 0	5 1	7 2	4	0	3 2 0	1 0 5 9
H 2 7	2 3 2	2 5 0	5 0 6	2 6	8 8	1 0	1	5 2 2	9 7 5
H 2 8	1 1 5	1 5 8	5 0 0	2 2	1 3 6	7	9	6 1 6	9 6 3
H 2 9	1 0 4	1 3 8	2 5 0	1 2	5 7	5	3	5 7 2	9 6 7
H 3 0	5 2	9 8	3 0 8	2 0	3 0	1 1	1	7 7 6	1 1 4 4
R 1	6 1	9 9	4 7 9	1 1	1 7	1 8	7	1 6 0 6	1 9 0 6
R 2	4 2	6 8	3 2 7	8	1 0	8	4	2 0 6 6	1 9 6 4
R 3	1 5	2 9	9 8	7	1	2	3	1 3 1 9	1 1 8 5

令和3年度中サイバーパトロールにより
発見、通報された件数・・・1,185件

その中で

- 高校生・・・903件（全体の約76%）
- 中学生・・・272件（全体の約23%）

となっていて

中高生で約99%

を占めている。

数値的に言えば・・・

和歌山県内の・・・

- 全高校生の100人に4人
- 全中学生の100人に1人

が、サイバーパトロールで発見、通報等されている

インターネット利用で加害者になったり、被害者になったりする少年がなくなるようにしたい！

子どもたちに
実際に
教えてみたい

実 現

～情報モラル
教室の開催～

サイバー防犯ボランティアによる 情報モラル教室の開催

～被害者にも加害者にもならないために～

サイバー防犯ボランティアが
実体験を踏まえた説明を実施

- SNSの危険性
- 個人情報や写真の投稿
- 悪ふざけ投稿
- 違法アップロード・ダウンロード



生徒にはっきりと認識させる！

インターネット上では、

- 都会とか田舎とか関係ない
- トラブルはいつでも起こり得る
身近にあるもの

受講した生徒から . . .

高校進学を機に実家を離れるので、インターネットを使うときは気を付けなければいけないと感じた

困ったときは、頼れる人に相談しようと思った

ネット上の情報を鵜呑みにして、他人を傷つけてしまったり、混乱させてしまうことがあるかもしれないので、今後、トラブルなどに巻き込まれないように気を付けていこうと思った

SNSへの投稿は、自分さえ気をつけていれば個人情報の特典などされないと思っていたけど、大学生の体験談を聞いて、トラブルが本当に身近に感じられ、注意しなければいけないと感じた



という感想が寄せられました

ご静聴
ありがとうございました



和歌山県警察マスコットキャラクター きしゅうくん